筑豊炭田閉山50周年記念シンポジウム

炭鉱の閉山とその後

日本最大の産炭地であった筑豊炭田は、我が国の近代化と戦後復興に大きく貢献しましたが、石炭不況とエネルギー革命に抗えず、1976(昭和51)年に貝島大之浦露天掘りが終掘したことで、筑豊炭田は完全に閉山しました。

2026(令和8)年は、筑豊炭田が閉山して50年を迎える年です。この節目の年に、半世紀にわたる炭鉱なき後の地域の歩みを振り返り、他地域の事例とあわせながら、炭鉱の閉山を考える契機とします。

令和８年

11月14日（土）　13時30分から16時30分まで

会場
田川市民会館　講堂
（田川市大字伊田2550-1）

参加費無料
事前申込不要

基調講演

炭鉱閉山と産炭地域・離職者のその後
－筑豊の経験から「公正な移行」を考える－

講師：嶋﨑　尚子氏（早稲田大学教授）

シンポジウム

炭鉱の閉山とその後　コーディネーター：小島　立氏（九州大学教授）

「閉山と記憶の継承」	川松　あかり氏	（九州産業大学）
「閉山と子どもたち」	笠原　良太氏	（実践女子大学）
「炭鉱の閉山と地域」	朝烏　和美	（田川市石炭・歴史博物館）
「宇部の閉山」	藤永　徹也氏	（宇部市炭鉱を記録する会）

問合せ先

田川市石炭・歴史博物館
田川市大字伊田2734-1
TEL/FAX 0947-44-5745

公式HP　公式Instagram

主催
全国石炭産業関連博物館等研修交流会、筑豊炭田遺跡群行政連絡協議会、田川市石炭・歴史博物館